

## (2) 読み聞かせ

# 図書委員会「読み聞かせ隊」 低学年学級へ出動

新宿区立大久保小学校 編



実践事例	
1	<b>実践した教科・領域等</b> : 特別活動 (図書委員会の活動)
2	<b>対象学年</b> : 第5・6学年 (訪問先 第1・2・3学年)
3	<b>活用した書籍情報</b> : 「ぐりとぐら」中川李枝子文 大村百合子絵 福音館書店 「ねえ、どれがいい？」ジョン・バーニンガム文・絵 松川真弓訳 評論社 「三びきのやぎのがらがらどん」(北欧民話) マーシャ・ブラウン絵 瀬田 貞二訳 福音館書店 「11ぴきのねこ」馬場のぼる こぐま社
4	<b>読書活動の実践の概要</b> : 全1時間 (他、放課後と低学年学級に読み聞かせ活動10分×4回) ① こども図書館の司書の方に作ってもらった「読み聞かせリスト」の本から、二人か三人組で、自分たちが読みたい本を選ぶ。 ② 読み聞かせのコツを図書支援ボランティアの先生に教えてもらい、練習する。 ③ 図書担当の教諭に聞いてもらい、「読み聞かせ隊許可証」(カード)をもらう。(放課後) ④ つつじタイム (朝読書の時間) に低学年学級で読み聞かせを行う。 ※つつじタイム週2回のうち1回を読み聞かせに充て、低学年4学級を回った。  
5	<b>活動のポイント</b> ① 区内図書館の司書の方か図書ボランティアの支援日に、委員会の活動時間があたるように調整する。 ② 図書室の本で読み聞かせに適した本を事前に多めに用意し、その中から選べるようにする。 ③ 二人か三人組なので、本をめくる役と読み聞かせる役を分担し、途中で交代する
6	<b>留意点</b> ① 高学年児童の「読み聞かせ」活動の意欲を高め、低学年学級に聞く意識を持たせるために、訪問する学級担任に予告するとともに、「読み聞かせ許可証」への感想記入を依頼しておく。 ② 低学年児童に発表するので、委員会担当教諭が「許可証」を使って、声の大きさや読む速さなどを指導しておく。
7	<b>連携した諸機関</b> ①新宿区立こども図書館の司書の方に、「読み聞かせに適した本のリスト」を作っていただいた。 ②「としょかん支援クラブ」(NPO) の来校支援日が学校の委員会活動の時間にあたるよう調整し、読み聞かせの指導をしていただいた。